

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員がいつでも視認出来、実践できるような環境が構築されていないが出来ていない。	理念の職員の浸透も合わせ、理解を深めることができるような取り組みを実施する。	利用者・家族・職員も必ず使う1階エントランス廊下に理念を掲示する。 初任研修時に理念の解説を盛り込む。	2ヶ月
2	6	施設内の各フロア出入り口は施錠されており、利用者が単独で自由に行き来することが出来ない。施錠と言う手段でセキュリティやリスクを優先し、利用者が自分の意志で行動することを妨げている。	利用者が施設内各フロアを自由に行き来出来るようにする。	職員配置と見守りの人員配置を工夫することでリスクを回避することができるので、その体制が整い次第開錠を実施する。	6ヶ月
3	35	緊急時の対応手順は決められているが、防災マニュアルが整備されていない。また、災害時の備蓄の準備がなされていない。	いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から災害の際の正しい手順を習得する。	誰もが即座に理解し行動できるマニュアルを整備する。誰もがすぐに閲覧できる場所に配置する。緊急対応活動がスムーズにいこう、消防訓練時に試用運用する。	6ヶ月
4	40	利用者の要望や生活スタイルを継続できるグループホームだが、カロリー調整や減塩対策など、高齢者の健康に配慮した食事環境を確立できていない。	楽しく、おいしく、健康的な食事を提供する。	まずは、現在の実情を把握するために、何が良くなく何を改善すべきかをしっかり分析する。その結果を基に自施設としての方向性・方針を確立し、献立の考え方、留意すべき事を含め、管理栄養士の指導を仰ぐ。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。